

事業実績報告書

【委託団体】

大分県貝類談話会

【事業の目的】

大分県指定希少野生動植物であるオンセンミズゴマツボは、かつては県内数か所の温泉地で確認されていたが、現在は1箇所のみでしか生息確認できず、その個体数も現在100個体前後と少なく本種存続に関しては予断を許さない状況が続いている。採集圧抑制と本種の増養殖によって、種全滅防止対策を行うとともに、県内の生息可能地域を精査することにより、新生息地発見とその保護を目的とする。

【事業の概要】

1. 採集圧からの保護活動：生息地巡視によってマニアによる採集を防ぐ。
2. 生息地調査：大分県内の生息可能性のある地域を精査し、本種の分布を明らかにする。
3. 増養殖：本種の一部を飼育・増殖後、かつて生息し、環境を整えることによって生息可能と思われる地域への移植を行う。

【事業日程】

事業名	事業日程	事業の内容
1 採取圧等からの保護活動	<ul style="list-style-type: none">●生息地巡視：9月～3月の毎月1・8・15・22日の月4回、計28回の巡視を行った。●マスコミによる広報：9月13日、10月26・27・29日テレビ局、新聞各社は随時随行。●由布市環境学習会（1月30日）	<ul style="list-style-type: none">（1）地元に住む2名が週1回現地の生息状況を確認して、水温等とともに結果を記録して採集圧を防止した。（2）マスコミを通じて広報を行い、本種の保護を訴えた。なお、取材時は随時現地に赴き解説を行った。（3）由布市と共催で、環境学習会を開き、希少種保護と外来種警鐘を行った。市民ら約30人が参加。
2 生息地調査	<ul style="list-style-type: none">●自然公園指導員、希少野生動植物保護推進員研修会での事例発表（2月23日）●生息地調査 11月3日 九重町 11月17日 別府市 11月24日 日田市 12月16日 九重町他 12月23日他 由布市	<ul style="list-style-type: none">（1）文献に残るかつての生息地と生息可能性のある地域（日田市・玖珠郡・別府市・由布市）の約60か所を実踏精査した。

<p>3 増養殖</p>	<p>2月16日 日田市他 3月3日 大岳発電所周辺</p> <p>●飼育：9月～3月 由布市・由布院小学校・貝類談話会会員宅の3箇所で行った。</p>	<p>(1) 由布市・由布院小学校・貝類談話会会員宅でオンセンミズゴマツボを飼育し、増殖を行った。その結果500個体まで増殖ができ、産卵・成長の確認ができた。なお、飼育には現地の温泉水を必要とするため、定期的に現地へ水汲みに行った。</p>
--------------	--	--



市役所での増殖試験



環境学習会（高校生による発表）

【効果】

- ・ 本種の絶滅防止
- ・ 温泉地における生物多様性の改善
- ・ 大分県内における淡水産貝類の分布把握
- ・ 地域の自然保護啓発